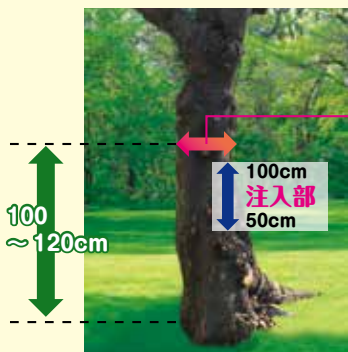


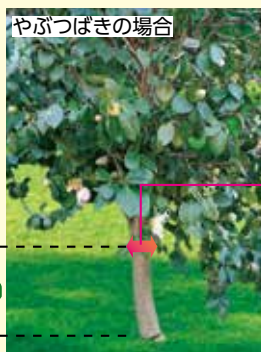
ウッドスター技術情報

使用方法と作業手順

①胸高直径を測り、使用薬剤量を定める



胸高直径



注入部の直径

②ドリルで孔をあける



孔径 7 または 10mm、
角度 45°、
深さ 6 ~ 7cm
程度の注入孔を
あけます。

各樹種の適正な位置に
ドリルにて注入孔をあけます。

③専用注入器で薬剤を孔へ注入する

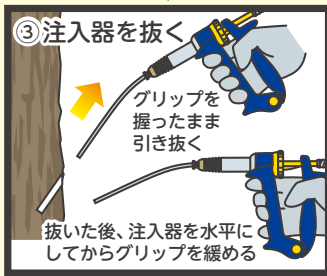
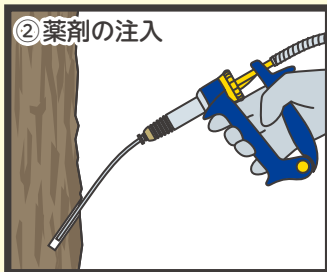
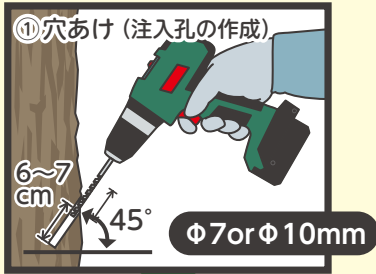


注入孔底近くまでノズルを差し込み、
薬剤を注入。緩やかにノズルを引き抜く。

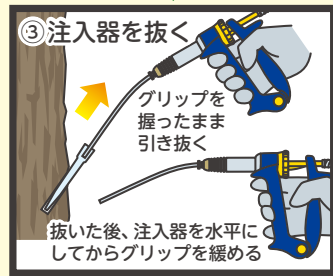
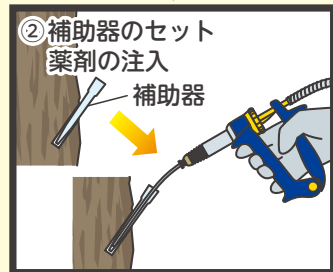
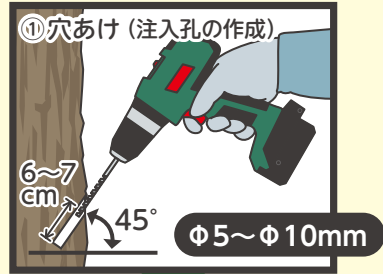
※専用薬剤注入器の取扱方法は、薬剤注入器セット(別売り)へ同封されている取扱説明書を参照の上 ご使用ください。

ウッドスターの使用法

補助器を使わない場合



補助器を使う場合

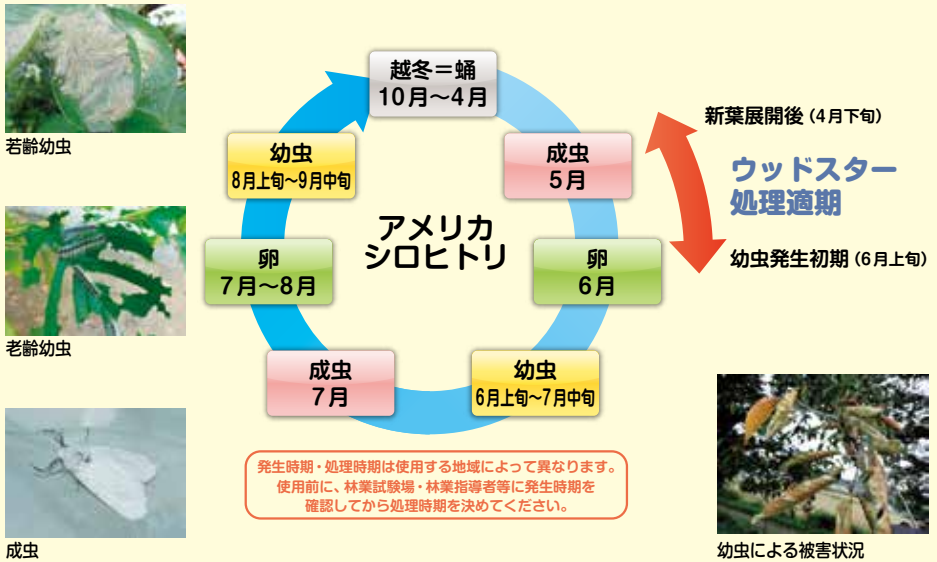


アメリカシロヒトリ（さくら）の防除

アメリカシロヒトリ（さくら）にウッドスターを使用する場合の注意点

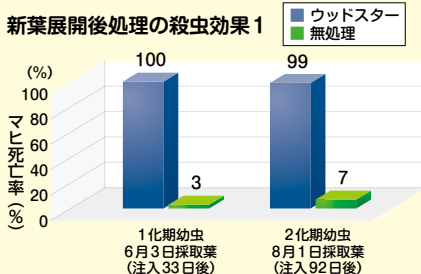
- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 50 ～ 100cm 程度を標準とします。
- 直径 10mm、深さ 6 ～ 7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当たり 4 ml を注入します。
- 注入孔直径 10mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入して使用してください。
- 落花終了後、新葉が十分に展開した後に注入してください。
- アメリカシロヒトリの幼虫発生前に注入することをおすすめします。

アメリカシロヒトリの生態とウッドスターの処理時期



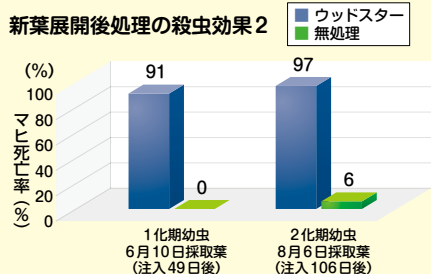
アメリカシロヒトリの幼虫に対する効果（平成 25 年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋）

新葉展開後処理の殺虫効果 1



試験場所：長野県林業総合センター
 処理方法：2013年5月1日に胸高直径15cm程度のサクラにウッドスター 16mlを注入した場合、放虫10日目の調査結果

新葉展開後処理の殺虫効果 2



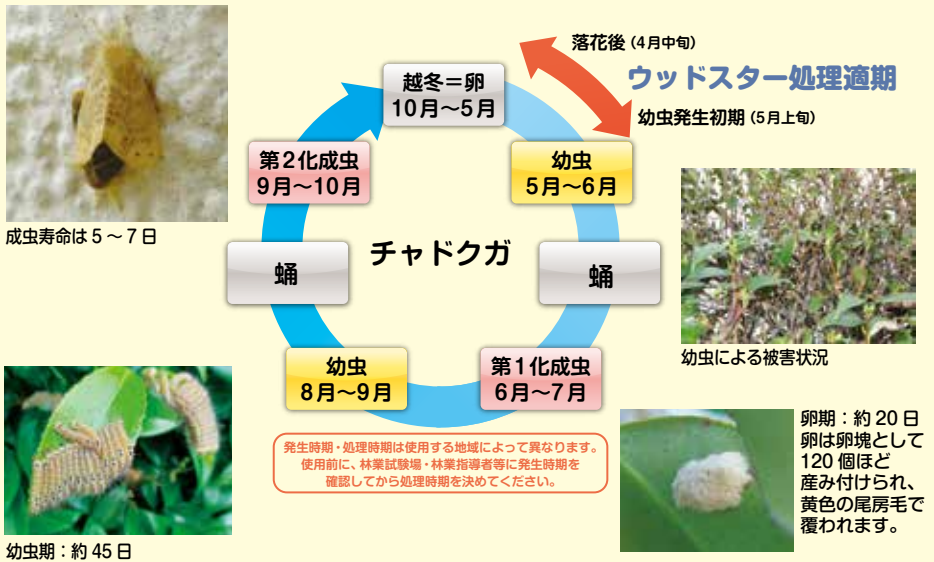
試験場所：岐阜県森林研究所
 処理方法：2013年4月22日に胸高直径25cm程度のサクラにウッドスター 32mlを注入した場合、放虫10日目の調査結果

チャドクガ（やぶつばき）の防除

チャドクガ（やぶつばき）にウッドスターを使用する場合の注意点

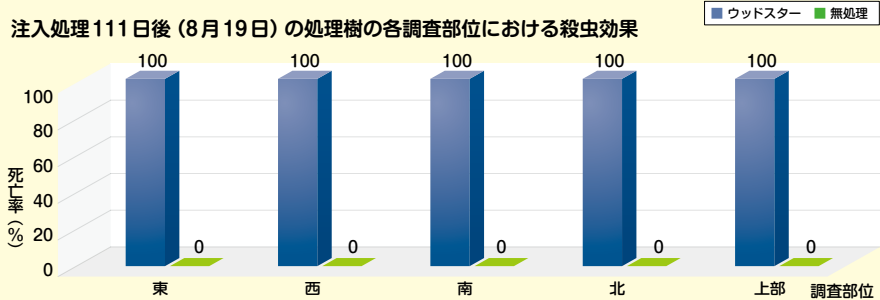
- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 10～30cm 程度を標準とします。
- 直径 7mm、深さ 6～7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当り 2 ml を注入します。
- 注入孔直径 7mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入して使用してください。
- 小径木に使用する場合は、適宜浅めの注入孔に、所定量を 2 孔以上に分散させてください。
- チャドクガの幼虫発生前に注入することをおすすめします。

チャドクガの生態とウッドスターの処理時期



チャドクガの幼虫に対する効果（平成 25 年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋）

注入処理 111 日後（8 月 19 日）の処理樹の各調査部位における殺虫効果



試験場所：鹿児島県森林技術総合センター
 処理方法：2013年4月30日に地際部直径13cm程度のツバキにウッドスター4mlを注入した場合、
 放虫10日目の調査結果

プラタナスグンバイ（プラタナス）の防除

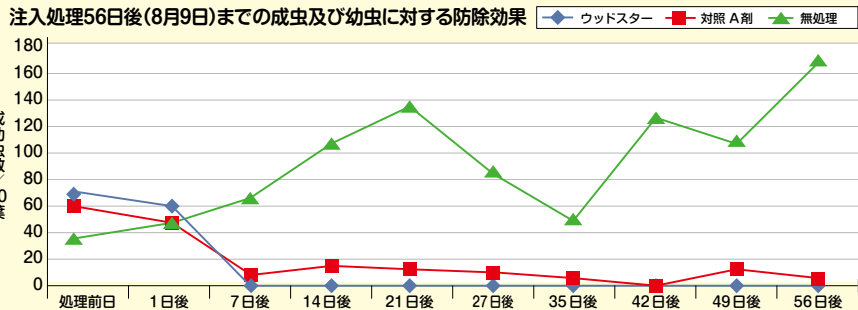
プラタナスグンバイ（プラタナス）にウッドスターを使用する場合の注意点

- 薬剤の注入部位は主幹部の地上高 50 ～ 100cm 程度を標準とします。
- 直径 7mm、深さ 6 ～ 7cm の注入孔を開け、専用注入器を用いて 1 孔当たり 2 ml を注入します。
- 注入孔直径 7mm 未満で使用する場合は、必ず専用の注入補助器を注入孔に挿入して使用してください。
- 落葉期や整枝剪定後の展葉初期には葉液が分散しにくいので、新葉展開後に注入してください。

プラタナスグンバイの生態とウッドスターの処理時期



プラタナスグンバイの成虫及び幼虫に対する効果（平成 25 年度 林業薬剤協会試験成績より抜粋）



試験場所：京都府病害虫防除所
 試験方法：2013年6月14日（第1世代成虫と第2世代成幼虫の混在時期）に胸高直径30cm程度のプラタナスにウッドスター 20mlを注入した場合